

新入職員インタビュー

この春、新しく七栗サナトリウムの仲間になった4人に質問に答えていただきました。

Q1 七栗サナトリウムに就職した理由は？

病院見学に来たとき、患者さんがすごく楽しそうにリハビリをしていた事と、患者様に看護師さんが丁寧に笑顔でケアを行っていたのを見て、この病院ならしっかり患者様と向き合っている感じが出来ると感じたからです。



4F 病棟看護師
北川美紀

1F 病棟看護師
奥出美希

緩和ケアに興味があったため、病院見学にさせて頂きました。その際に病院全体の雰囲気や、働いてみたいと思える、就職を決めさせてくださいました。

Q2 職場の雰囲気はどう感じましたか？

リハビリ病棟ではほとんどの患者様が離床し訓練していただき、話をしたり、生き生きしているのを見ました。ナースステーション内では様々なスタッフによるカンファレンスが行われ、病棟全体が明るく感じられました。



3F 病棟看護師
大倉佳奈

リハビリテーション部
理学療法士 近藤輝

多職種の方のかわり合いが強く、チーム医療という言葉を感じました。自分自身のチームの一員として患者様のために今後努力を積んでいきたいと思いました。

広報誌

ななくり

患者さまと医療をつなぐ

vol.40
2014.June

Public relations magazine
Nanakuri

病院からのお知らせ

外来医師担当表

平成26年6月12日現在

診療受付時間 平日 午前8時45分～11時30分 午後1時～3時
土曜日 午前8時45分～11時

	月	火	水	木	金	土
内科	脇田教授	中野准教授	片岡講師	脇田教授	午前:交代制※1) 午後:片岡講師	交代制※2)
外科 (外科・緩和医療学)	東口教授	中川医師	伊藤准教授	大原講師	三吉医師	阿波医師
リハビリテーション科	前島教授	岡本講師	岡崎准教授	前田医師	園田教授	交代制※3)
歯科	藤井講師	原医師	休診	藤井講師	藤井講師	藤井講師
ものわすれ外来 (予約制)	脇田教授 隔週 15:00～16:30		脇田教授 第1・3週 13:00～16:00			
セカンド オピニオン外来	園田教授 リハビリテーション全般 (不在の週あり)	東口教授 癌全般、消化器疾患、栄養疾患 15:00～16:00※予約制 脇田教授 認知症、神経疾患 15:00～16:00※予約制				

※1) 金曜日は第1・3・5週:中野准教授、第2・4週:片岡講師が交代で診察します。 ※2) 土曜日は脇田教授・中野准教授・片岡講師が交代で診察します。

※3) 土曜日は第1・3週:松尾医師、第2・5週:浅野医師、第4週:角田医師が交代で診察します。

ものわすれ外来の予約は059-252-1555までお問合せください。

看護師就職説明会

場所 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム
時間 10:00～12:00

平成26年度

6/28[±]・8/23[±]・10/25[±]・12/20[±]・2/28[±] 緩和ケアについて

7/26[±]・9/27[±]・11/22[±]・1/24[±]・3/28[±] 回復期リハビリテーション看護について

スケジュール

10:00～10:50 病院見学・看護部紹介

10:50～11:30 病院内見学

11:30～12:00 テーマ別レクチャー

交通案内: 下記アクセスをご覧ください。近鉄久居駅・榊原温泉口までお迎えに上がります。

中途採用・潜在看護師大歓迎です。採用試験は随時実施しています。お気軽にお問合せください。

お問い合わせ 看護部・人事担当 メール hp4kango@fujita-hu.ac.jp

がんリハビリテーション研修会案内

当院では医療者向けの三重県がんリハビリテーション研修会を企画・運営しております。研修会への興味や参加の希望がある方は下記までご連絡ください。

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

TEL 059-252-1555

担当: 理学療法士 國分実伸

デイケアからのお知らせ

七栗サナトリウムデイケアセンター専属の療法士を増員し、40分または60分の短時間通所リハビリテーションを実施しております。

ご希望の方は下記までお問合せください。

デイケアセンター直通電話

059-252-3091



緩和ケアコーナー 一般病棟における緩和ケア

緩和医療目的に入院予約をされた患者様は、一旦、一般病棟へご入院され、その後に緩和ケア病棟への移動となります。一般病棟では、さまざまなつらい身体症状や精神的な苦痛を和らげる為、緊急入院も可能であり、ご家族を含めた患者様の心理的・社会的なサポートを行っています。症状が安定した時点で、退院を考えていただくことも可能です。



- 公共交通機関
 - 名古屋・伊勢方面から
 - 近鉄名古屋線 久居駅下車、バス榊原温泉口・榊原車庫前行(下村経由)に乗り、「七栗サナトリウム前」下車、徒歩約3分
 - ※バス乗車時間約20分、タクシー乗車時間約15分
- 乗用車
 - 大阪・京都方面から
 - 近鉄大阪線榊原温泉口駅下車、タクシー乗車時間約15分
 - 伊勢自動車道
 - 久居インターチェンジより7km約10分

facebook

セミナーの案内や、イベントの報告、就職説明会の開催情報の発信サイト

Facebook「藤田保健衛生大学七栗サナトリウム」
http://www.facebook.com.nanakuri

編集 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会

発行人 園田 茂

〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地の1

電話 059-252-1555(代表)

FAX 059-252-1383

http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/

回復期リハビリテーションでの リハ医の役割

歩行への介入

脳卒中や脊髄損傷などで下肢の麻痺がみられる場合、適切な筋力強化、歩行訓練の方法を選んで処方します。適切な装具、杖を選択します。たくさん練習することが重要で、ひとつの手段としてトレッドミル歩行訓練は有用です。



休まず歩く!

運動麻痺への介入

脳卒中による運動麻痺の回復を促し、手足の動く度合いが増すことを目的とした手技や、刺激、訓練を処方します。筋肉の緊張が増してリハビリがやりにくい場合、薬を使ったり、ブロック注射をしたりして緊張を和らげるのも医師の仕事です。

食事への介入

脳卒中では高率に嚥下障害（むせや、肺に食べ物が入ってしまう）を合併します。リハ医は嚥下造影、内視鏡検査などで評価し、適切な嚥下訓練、食事、栄養摂取方法を実行部隊の言語聴覚士、看護師、栄養士に指示をします。



食べられるようになりました!

一般医療

脳卒中などリハビリが必要になる病気では、血圧など生活習慣病、血の固まりやすさへの配慮などが必要です。リハ医は障害への対応とともに、全身管理を行い、両面から患者さんを支えるとともに十分な説明を行います。

【病棟との連携】

訓練でできるようになったことは、病棟生活に活かされ実用化し、定着します。病棟スタッフは病棟でできなくて困っていることを療法士にフィードバックし、訓練内容、方法の見直し、変更が行われます。リハ科医師は患者様の病棟生活、訓練場面双方を、隔たりのないよう見張っています。

【退院後の生活への介入】

回復期病棟入院時から、退院後の生活をイメージして訓練内容を患者様にあわせてテーラーメイド。リハ科医師はケースワーカーと協力し、滞りなく在宅復帰、さらには社会復帰へ導きます。



家に帰ります!

リハビリテーション科医師を中心に

チームで患者様ひとりひとりに真摯に向き合います。